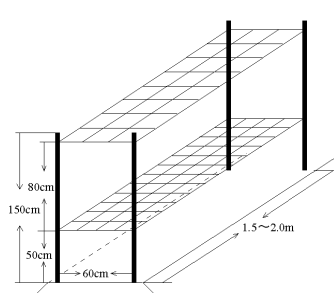


アスパラガス(2年目以降)

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘 要
1	上	#	冬肥施用	<ul style="list-style-type: none"> 冬肥施用 完熟たい肥施用は全面施用し、畦溝を軽く中耕後、再び整畦する。 	【冬肥例】 (10a当たり) 完熟たい肥 5,000kg ミネリハワー 100kg B B タフネス280 80kg 冬肥については土壌分析に基づき適正量を施用する。 未熟たい肥の施用はガス害を起こす危険性があるので使用は避ける
	中			<ul style="list-style-type: none"> ビニール被覆 保温性を高めるため、できるだけ2重被覆を行う。新芽が出るまでは密閉し、新芽が出始めたら35℃を目安に換気する。夜間は密閉する。 	
2	上	#	春芽収穫開始	<ul style="list-style-type: none"> 春芽収穫 収穫開始2週間後から追肥を行う。以後2週間毎に状況を見ながら追肥する。 	【春芽収穫打ち切りの目安】 1年生株 3月下旬 (収穫開始後40~50日) 2年生株以上 4月中~下旬 (収穫開始後50~60日)
	中			<ul style="list-style-type: none"> 側ビニールの除去 天井ビニールは被覆したままにし、最低気温が15℃以上になってから、側ビニールだけを除去する。 	
3	上	#	春芽収穫終了 立茎開始	<ul style="list-style-type: none"> 立茎 収穫茎の穂の開きが多くなったり、良い茎が出てこなくなってきたら、春芽の収穫を終了し立茎を開始する。 	【春肥例】 (10a当たり) アスパラエース1号又は2号 180kg/10a(N-25.2) ミネリハワー 100kg 【支柱立て・ネット張りの方法】
	中			<ul style="list-style-type: none"> 【立茎方法】: L級(茎径11mm~13mm)の太さで勢いの良い茎を1m当たり10~12本(株当たり3本程度)立てる。茎と茎は10cm以上離す。立茎に入った圃場は、30℃を目安に換気する。 	
4	上	#	春肥施肥	<ul style="list-style-type: none"> 土壌物理性改善 心土破碎機により排水対策を行う。 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 春肥施肥 春芽収穫終了後、春肥を施用する。 	
5	上	#	夏芽収穫開始 追肥(2週間毎)	<ul style="list-style-type: none"> 整枝・剪定・誘引 立茎後1.5~2ヶ月経過し、葉が完全に展開した後に地上120~140cmの高さで摘芯する。また、地上50cm(70cm)以下の下枝、ひこばえは除去する。 	【茎枯病対策】 薬剤散布 (立茎時期、収穫終了後、台風通過後) 発病株のハウス外持ち出し 立茎時のかん水調節 (通路かん水、水圧調整) 収穫終了後の地表面の焼却処理 畦面の被覆(モミガラくん炭等)
	中			<ul style="list-style-type: none"> 夏芽収穫 収穫は早朝、夕方の2回行う。 	
6	上	#	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> 病害虫防除 病害を蔓延させないように、過繁茂にならないよう注意する。また、発病茎葉は、速やかに除去する。ハスモンヨトウ対策のため、フェロディンSLの設置。(1.5ヶ月ごとに交換) 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 追肥 8月中旬以降速効性肥料を追肥する。(月2回N-2kg/回) 最終追肥は、10月上旬までとする。 	
7	上	#	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> かん水 春芽収穫時: 2日に1回、畦表面が乾かないよう晴れた午前中に適宜行う。 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 立茎時: 3~5日/5日程度行う。 夏芽収穫時: 1~2日に1回、こまめに夕方行う。 収穫終了時: 7~10日に1回、夕方乾くように朝方行う。 * 秋の乾燥は、翌年の春芽萌芽が悪くなる。 	
8	上	#	整枝・剪定 追肥	<ul style="list-style-type: none"> 整枝・剪定 7月いっぱいまで採光・通気を良好にするため適宜行う。 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 下温対策 夏期はハウスの妻面のビニール開放、肩換気(雨風には注意) 	
9	上	#	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> 台風対策 ハウス、支柱の補強、誘引を徹底する。 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 収穫終了 10月下旬をめぐりに収穫終了し、ハウスを開放し、できるだけ寒気にあてて、地下部へ養分の転流を促す。 	
10	上	#	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> 全刈り 全体の茎葉の80%以上黄化した頃、地際部ストレスに全刈りし、地表面を丁寧に焼却する。残渣も丁寧に取り除く。整畦後、トリフミン水和剤1000倍液を灌注するとともに除草剤の散布を行う。(センコル水和剤) 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 全刈り 全体の茎葉の80%以上黄化した頃、地際部ストレスに全刈りし、地表面を丁寧に焼却する。残渣も丁寧に取り除く。整畦後、トリフミン水和剤1000倍液を灌注するとともに除草剤の散布を行う。(センコル水和剤) 	
11	上	#	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ハウス周辺の除草を行う。 	
	中			<ul style="list-style-type: none"> 除草剤散布 	